2026年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社イーエムネットジャパン
代表者名 代表取締役社長 山本 臣一郎
（コード番号：7036 東証グロース）
問合せ先 執行役員 CFO 小松 紀之
(TEL.03-6279-4111)

当社の親会社 ソフトバンクグループ株式会社
代表者名 代表取締役 会長兼社長執行役員 孫 正義
（コード番号：9984 東証プライム）

当社の親会社 ソフトバンク株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川 潤一
（コード番号：9434 東証プライム）

2026年12月期 通期業績予想の修正（下方修正）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえた結果、2026年５月13日に公表いたしました2026年12月期（2026年１月１日～2026年12月31日）の通期業績予想を以下のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の通期業績予想数値の修正（2026年１月１日～2026年12月31 日）

	営業収益（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	当期純利益（百万円）	１株当たり当期純利益（円銭）
前回発表予想（A）	1,661	171	185	136	35.35
今回修正予想（B）	1,400	14	34	35	9.05
増減額（Ｂ－Ａ）	△261	△157	△151	△101	
増減率（%）	△15.7	△91.8	△81.6	△74.3	
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	1,594	155	180	△449	△116.36

2. 業績予想修正の理由

当期の業績におきましては、主力の広告代理店事業において既存案件の単価改善やインハウス支援の伸長が見られたものの、上期における顧客離反の影響による全体の案件数減少に加え、新規案件の獲得

ペースが鈍化し、売上高は当初想定を約 160 百万円下回る見込みとなりました。
また、SB シナジー事業におきましては、大型案件の離反や、前年同期に計上されたスポット案件の配信時期のズレなどが影響し、売上高は当初想定を約 80 百万円下回る見込みとなりました。
利益面につきましては、獲得費用の抑制など営業費用の削減に努めたものの、売上高の減少に伴う売上総利益の低下を補うには至らず、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれにおきましても当初予想を大きく下回る見通しとなりましたため、通期業績予想を下方修正いたします。

3. 今後の対策

当社はこの状況を厳粛に受け止め、来期における業績の早期回復と持続的成長に向け、以下の対策を迅速に実行いたします。

（1）広告代理店事業：包括的提案の強化と AI 活用による効率化

① 新規顧客開拓力の強化

AI を活用した広告運用最適化（AIO）等の広告周辺施策を含めた包括的な提案を行うことで、新規顧客の獲得を推進いたします。

② 顧客単価の向上と離反防止

AI によるクリエイティブ量産化体制を構築し、既存顧客へのアップセル・クロスセルを促進いたします。また、当第４四半期中に広告レポート作成の AI 基盤を整備し、業務生産性の向上と顧客接点強化による離反防止を徹底いたします。

（2）SB シナジー事業：統合支援の推進と営業体制の強化

① 統合支援の推進

ソフトバンク株式会社の顧客基盤を活用し、データ基盤を起点としたアドプロポーザル（広告提案）や、LINE 公式アカウント関連広告を組み合わせた統合支援を推進いたします。

② 営業・支援体制の強化とスポット案件の獲得

営業および支援体制を抜本的に強化することで重点顧客の離反を防止いたします。あわせて、当第４四半期における期末予算を対象としたスポット案件の獲得に注力し、来期以降の継続受注・取引拡大の土台を構築いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上